



青木英二目黒区長と固い握手を交わす谷山理事長

去る1月29日(水)に谷山理事長以下、門脇理事、岡崎顧問とともに目黒区の青木区長を表敬訪問いたしました。この訪問は、青木区長が門脇理事の友人であり、都議の時代に、当時都議会議員としての先輩であることから実現しましたが、そのこともあり、懇談の前半は区長に話される前の議員時代の思い出や苦労話で大いに盛り上がりおりました。

また、先だって実現しました世田谷区の保坂区長との対談についても報告いたしました。

懇談の後半は、目黒本町福祉工場の現状報告をさせ、区長からは昨年9月28日(土)に開催した「本町まつり」にいられた時の感想など聞かせていただきました。また、谷山理事長からは現在の法人の取り組みとして、杉並区にある阿佐谷福祉工房を拠点として始動した三井不動産リアルティ株式会社との連携事業「ソーシャルオフィス」(注)の概要を説明し、将来目黒区内でも同様の事業開始を視野に入れていくことを説明しました。

青木区長は、障害者施策の充実を目黒区の重点課題として捉えており、また実際の施設等の活動にも大変関心をお持ちで、目黒本町福祉工房を含めほとんどの施設のおまつりなどに足を運んでいただいています。新事業の「ソーシャルオフィス」



阿久津施設長、門脇理事、岡崎顧問とともに

「注」ソーシャルオフィスとは障害者雇用を進めようとする企業が、福祉の専門家と協力して運営する新たなカタチのオフィス。

いたる通信 52 春号

ITARU CENTER

目次 contents

- 01 目黒本町福祉工房
- 02 あけぼの作業所 阿佐谷福祉工房 すまいる高井戸 いたる相談室
- 03 いたる地域ケアセンター サポートウイズ GH事業部 クローバー
- 04 保育・学童保育準備室 PukuPuku さんまるしえ 法人本部

「いたる賛助会入会のご案内」の活動を支援していただける方を募集しています。

「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費 1口5千円(何口でも可)

郵便振り込み 001107128892

口座 339217346 事務局 山本まで

保育・学童保育準備室 室長 花山 隆洋

パン工房Pukupuku 店長 鈴木 健

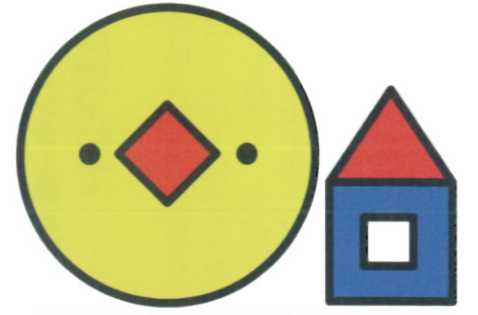
法人本部より ソーシャルファームとは

今年4月を目標に保育所の開所を大急ぎで準備してまいります。いたるセンターとしては初めての乳児を対象とした事業となります。

今回実施する保育事業は事業所内保育所としてスタートします。当法人の職員が養育している乳児をお預かりする福利厚生と就業支援の事業です。保育所の開設場所は、杉並区清水1丁目の木造二階建ての戸建て住宅の1階を使用します。外観は保育所らしくありませんが、室内は安全・安心のための改装や乳児用のトイレ・手洗い器の設置で保育所らしくなりつつあるところですので、しばらくすれば、そこで働く保育士の皆さんの力で、手作りの保育所が出来上がります、ご期待下さい。

保育所の名称は、「ピヨピヨおうちえん」です。

この名前が表すように、元気に生まれた赤ちゃんを、お母さんと一緒にお家で過ごすように愛情をもって暖かく育む、そんな家庭的な保育所を目指します。



PIYOPIYO HOUSE NURSERY かわいいロゴマークも作成しました

※(保育所の概要)

入所年齢 0歳児〜2歳児

開所時間 午前8時〜午後6時

お預かり乳児数9名。

只今調整中の「しおり」等を後日作成しますので、これをご覧いただけます。思いも知れませんが概要が分かるかもかもしれません。この紙面でお伝えいたします。当いたるセンター職員等で入所をご希望の方は、法人本部の花山、又は担当保育士の諸我(もろが)までご連絡下さい。

さんまるしえは本年6月に開店3周年を迎えます。毎日目黒区内の施設で作られるお弁当の販売は、開店当初は6個でしたが、現在は35個から40個へと拡大しました。要因は翌週販売予定の日替弁当のメニューをチラシにして、毎週ポスティングをした事でした。当初は店長が行っていたポスティングを、現在は目黒本町福祉工場のメンバーさんに工賃をお支払いして

お弁当販売とポスティング

お陰様で毎日完売、更に50個の特別注文を頂くこともあり、売上拡大に繋がっています。

店長 鈴木 健



目黒本町福祉工房との連携で相乗効果を

パン工房Pukupukuではメンバーさんと職員が2名体制で引き売りを行っています。引き売りの日は1日2回昼食を挟んで出かけますが、メンバーさんが自発的に買上計算、袋詰め、商品渡し、あいさつを指導しながらリヤカーの極小スペースを最大限活かしてディスプレイで販売していただきます。最近固定客も増えており、移動中の安全確認を行いながら、26年度は前年の1.5倍の売上予算を立てて販売強化をいたし、お願いいたします。

いたる広報委員

発行責任者=谷山 哲浩

社会福祉法人いたるセンター 167-0032 東京都杉並区天沼1-15-18 TEL: 03-3392-7346 FAX: 03-3391-8039 Eメール: info@itarucenter.com HP: http://www.itarucenter.com/ 発行日/平成26年4月1日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。いたる広報委員まで。

あけぼの作業所

施設長 萩野 路子 (おぎの みちこ)

キッチンカーでの販売開始

あけぼの作業所のキッチンカーが、4月から本格的に始動します。「メンバーさんと地域をつなぐ被災地の人のための生命をつなぐ」。

このような思いから「TUNAGU」と命名しました。見た目はシンプル、一見トラック。可愛らしいキッチンカーが、街のいたる所で見られる今日この頃。

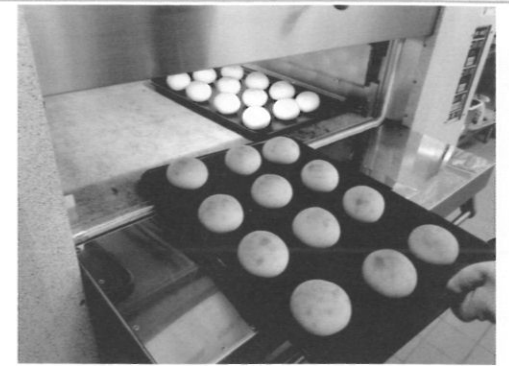
このシンプルさがとてもお客様の目を引きまします。都心で週3回、近隣の学校や公園に

週2回出向いて、あけぼの名物「タイカレー&ドリンク」の販売をします。販売だけではありません。空いている時間は公園の清掃もします。

もちろん主役はメンバーさん。スタッフはそっとそっと見守りつつメンバーさんのサポートを心掛けます。積極的に地域の方々と関わることで地域の一員として働き「力」自信「笑顔」につなげる取り組みにしていきたいです。キッチンカーにご期待ください。

阿佐谷福祉工房

施設長 佐藤 章 (さとう あきら)

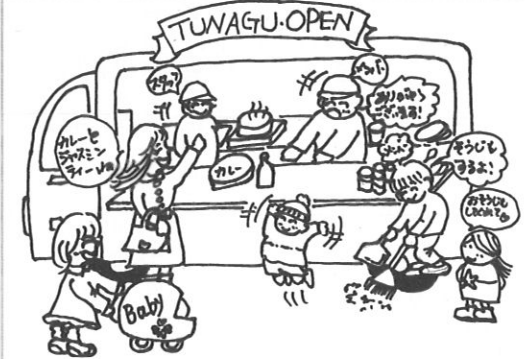


製パン事業も順調に伸展

新たな就労支援の動き

多種多様な就労の場を阿佐谷福祉工房では実現しています。B型事業部の清掃事業部カガヤックにおいては、公園清掃及びアパート、マンションの室内清掃などを通じ工賃を稼ぐとともに一般企業への就職前準備訓練を行っています。昨年度3名の就職者を出しました。定着支援を行なうと同時に企業と障害者雇用拡大を目指すソーシャルオフィスパロジエクト立上げ企業の方と一緒に「民福連携」を実現します。

皆様の街にも出没するかも漂ってきたら、是非、足を止めてみて下さいね。



キッチンカーでつなぐイメージを「見える化」

すまいる高井戸

センター長 春山 陽子 (はるやま ようこ)

パソコン講座の一年

すまいる高井戸(杉並区障害者地域相談支援センター高井戸)では「本人の自立を支援する事業」として茶話会、ハンドメイドの会、散歩の会(すぎ散歩)、グループワーク(ストロベリーカフェ)、パソコン講座などのプログラムの実施や当事者活動としてのナチュラルカフェを支援しています。

今回は、パソコン講座のご紹介をしたいと思います。パソコン講座は、ボランティアの方の協力で、毎月第2日曜日に開催しています。パソコンのスキルを磨く目的ではなく、パソコンを利用して、ご自身の興味・関心を広げ自己表現の幅を広げることが重視されています。例えば、行きたい場所を調べたり、その情報を参加者の方々と情報交換をしたり、イメージを膨らませたりしています。

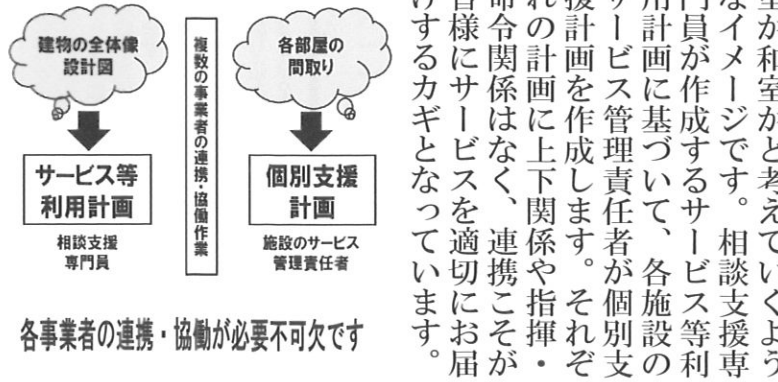
今までは台数に限りがあるため、パソコンに触れる時間が少なくご不便をおかけしました。平成26年度は少し台数が増えそうです。参加者の方々が充実した時間を過ごすことができればと思います。

いたる相談室

室長 渡邊 紀子 (わたなべ のりこ)

サービス等利用計画と個別支援計画の関係

個別支援計画があるのに、まだ計画が必要ですか?と、よくある質問です。計画ばかりで混乱してしまいませんか。例えて言うとサービス等利用計画は建物全体の設計図。個別支援計画は各部屋の間取りというところでしょうか。設計図で建物全体のバランスが分かり、各部屋の間取りで洋室か和室かと考えていくようなイメージです。相談支援専門員が作成するサービス等利用計画に基づいて、各施設のサービス管理責任者が個別支援計画を作成します。それぞれの計画に上下関係や指揮・命令関係はなく、連携こそが皆様にサービスを適切にお届けするカギとなっています。



いたる地域ケアセンター

センター長 八巻 利子 (やまき としこ)

働くデイサービス事業について

昨年度下期よりデイサービス立ち上げについて検討を重ね、今期は介護保険通所介護の運営を開始する予定です。コンセプトは「働くデイサービス」です。いたるセンターの基本方針である「働く」をテーマに、介護保険世代に突入した障害者・高齢者が一体になり、例えば「さをり織」を学び、手先の器用な方が作品を作る。昼食は利用者と一緒に買い物に行き一緒に昼食を作り皆で食べる。近隣の畑

を借り野菜や花作りをする。たまには大好きなカラオケを楽しむ等々、多彩なメニューも考案中です。運営場所を探しています。

高齢になつた障害者も一般の高齢者も共に人生を満喫できるように頑張つて支援させていただきます。ただし、介護認定がおりている事が条件ですので、ご利用につきましましては、いたる地域ケアセンターまでお問い合わせください。

サポートウイズ

統括リーダー 山崎 智子 (やまさき ともこ)

移動支援事業について

この4月で、サポートウイズは7年半を迎えます。おかげさまで多くの利用者様に移動支援をご利用いただき、安心・安全で信頼がいただけるサービスとご評価をいただいております。

今年度も引き続き、利用者様のご要望にお応え出来るよう、職員・ヘルパーともに頑張つていきたいと思つております。さまざまな要望にお応え出来るよう、随時ヘルパーの募集も行つております。

ご興味のある方がいらつしやいましたらぜひご連絡ください。

【連絡先】
03(33392)8633



余暇を充実させてリフレッシュ

グループホーム部

グループリーダー 堺 浩一 (さかい こういち)

新卒職員、この一年「第一歩」



GH部の次代を担う3名です

昨年度、このGH部に配属された社会人一年目の3人の新卒職員。ご利用者個々と密に向き合うことのできるGHの現場で、福祉人、社会人としての第一歩を踏み出した、彼らの声をお届けします。

「はじめまして。半年間のあけぼの作業所仮配属の後、虹の音色に本配属しました。日々、あけぼの作業所のスタッフやGHの先輩方に支えられながら勤務ができて幸せです。皆様有難うございます」

(志村宗紀)

クローバー事業部

所長 影山 仁美 (かげやま ひとみ)

クローバーの食事の提供について

クローバーではご利用者の嗜好を考慮しつつ、塩分やカロリーのバランスがとれた食事となるように健康面にも配慮した食事提供を心がけています。特に夕食は15品目以上の食材を使用しており、見た目も味も良い食事内容となっております。安全面では、ご家族からアレルギー食材をうかがい、その食材を確認して提供します。

「GHでの第一歩として思い起こすのは、ご利用者からの洗礼の数々です。時にはきつい言葉をかけられたり、色々ありました。

しかし、相手の考え方が理解できてくると関係性も変わり、やはり人との関わりは面白いなと思つていきます」

(宇田川夢)

「私は、日々の業務の中で、他事業所との連携について学びを深めています。密接に関わることで、情報の共有・伝達等ができ、問題解決にもつながると感じるからです。今後より深く考えていきたいと思つています」(野田達也)



健康で豊富なメニュー

ご寄付に感謝

ひこばえ幼稚園の皆様、高宮様(さをり織り用糸)など、多くの方々よりご寄付を頂きました。有難うございました。